

SRS SRSエアバッグ

作業上の注意	2	前席サイドエアバッグモジュール	25
・注意	2	・取り外し、取り付け	25
準備品	3	カーテンエアバッグモジュール	26
・特殊工具	3	・取り外し、取り付け	26
故障診断	4	アクティブシートクッション	27
・故障診断概要	4	・取り外し、取り付け	27
・故障診断の進め方	4	プリテンショナーシートベルト	28
・構成部品取り付け位置	4	・取り外し、取り付け	28
・回路図	5	サテライトセンサー	29
・CONSULT- の機能	5	・取り外し、取り付け	29
・自己診断機能（CONSULT- を使用しない 場合）	7	エアバッグセンサーユニット	30
・システム点検	7	・取り外し、取り付け	30
・故障診断要領（CONSULT- を使用する場 合）	9	廃却処理	32
・故障診断要領（CONSULT- を使用しない 場合）	14	・作業上の注意	32
・現象別故障診断早見表	18	・運転席エアバッグモジュール（単体処理）... 32	
運転席エアバッグモジュール	19	・助手席エアバッグモジュール（単体処理）... 33	
・取り外し、取り付け	19	・アクティブシートクッション（単体処理）... 34	
スパイラルケーブル	21	・プリテンショナーシートベルト（単体処 理）	35
・取り外し、取り付け	21	・カーテンエアバッグモジュール（単体処 理）	35
・スパイラルケーブルの点検	22	・前席サイドエアバッグモジュール（単体処 理）	37
助手席エアバッグモジュール	23	・車載上の処理	37
・取り外し、取り付け	23	・廃却方法	38
		事故後処理	39
		・事故後処理	39

作業上の注意
注意

PF0:00001

JHS0001Y

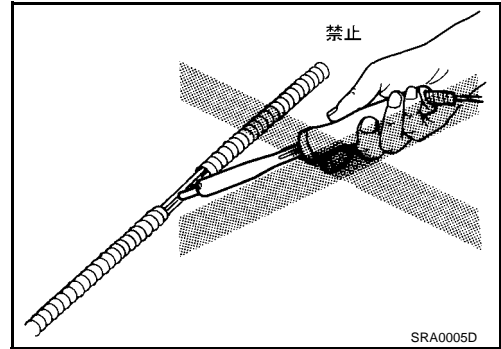
- 構成部品の脱着、SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム関連ハーネスの脱着は、キースイッチ OFF で、バッテリーマイナス端子を外してから 3 分以上放置後行うこと。
(エアバッグセンサーユニット内の補助電源回路に蓄えられた電気を自己放電させるため。)

- エアバッグセンサーユニットの脱着に、エアツール及び電動ツール等は使用しないこと。

- SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム用のハーネスは、他のハーネスと区別するため、コネクタ首下に黄色のテープで識別している。

- SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム関連のハーネスは、ハンダ等による修理は禁止である。また、ハーネスの噛み込み及び他部品との干渉に十分注意すること。

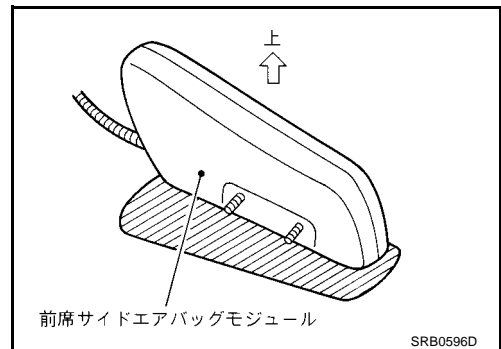
- エアバッグモジュールは非分解のため、インフレーターを取り外しは厳禁である。



- エアバッグモジュールを単品で置くときは、運転席エアバッグモジュールはパッド面を、助手席エアバッグモジュールはリッド面を上にして、前席サイドエアバッグモジュールは、スタッドボルト側を下にして立てて置くこと。(万一の作動に対する備え)

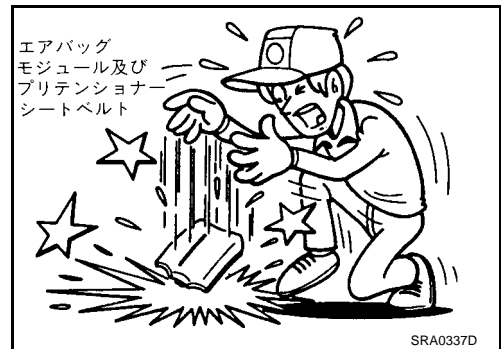
- アクティブシートクッションユニットを単品で置くときは、シートクッション座面を上にして置くこと。

- エアバッグモジュールは 90° 以上、プリテンショナーシートベルト及びアクティブシートクッションは 80° 以上の高温になる所に置かないこと。



- エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトには、落下等による衝撃を与えないこと。衝撃を与えた場合、交換となる。

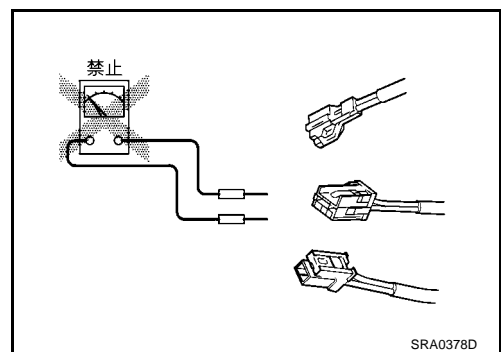
- エアバッグモジュール、プリテンショナーシートベルト及びアクティブシートクッションにオイル、グリース、洗浄油、水等を付着させないこと。



- 車両取付状態でエアバッグセンサーユニット、エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト関連ハーネスの点検又は、単品状態での点検に、サーキットテスター等の電気テスターは使用禁止である。(テスターの微電流による作動防止)

- エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトのコネクタに、ドライバー等の異物の差し込みは禁止である。(静電気による作動防止)

- システム回路の診断は、SRS エアバッグ警告灯による診断及び CONSULT-III の診断で行うこと。サーキットテスター等の電気テスターは使用禁止である。



準備品

準備品
特殊工具

PF0:00002

JHS000IZ

A

B

C

D

E

F

G

SRS

I

J

K

L

名称	用途
<p>1. ビットホルダー HT6196 1000 2. トルクスピット HT6125 2000</p>	<p>助手席エアバッグモジュール、エア バッグセンサーユニット脱着</p>
<p>エアバックモジュール固定用 ブラケット KV991 05300</p>	<p>エアバックモジュール固定</p>
<p>ディプロイメントツール KV991 04600</p>	<p>エアバックモジュールの強制作動</p>
<p>変換コネクタ KV991 08300</p>	<p>ディプロイメントツールと助手席エア バッグモジュール及びアクティブシー トクッションインフレーターとの接続</p>
<p>変換コネクタ KV991 09700</p>	<p>ディプロイメントツールと運転席エア バッグモジュール、プリテンショナー シートベルト及びカーテンエアバッグ モジュールとの接続</p>
<p>変換コネクタ KV991 09000</p>	<p>ディプロイメントツールとサイドエア バッグモジュールとの接続</p>
<p>電子システム診断テスター・ CONSULT- EG1187 0000 プログラムカード EG1187 0100</p>	<p>システム診断</p>

故障診断

PF0:00004

故障診断概要

JHS000J0

SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステムの故障診断は、SRS エアバッグ警告灯及び電子システム診断テスター・CONSULT- による診断が可能である。

ユーザーモード診断は、SRS エアバッグ警告灯によって、故障をドライバーに知らせる。

故障状態モード診断によって、異常部位の把握とその点検をすることができる。

SRS エアバッグ警告灯及び CONSULT- の診断モードの適用は以下の通りである。

	ユーザーモード診断	故障状態モード診断	表示タイプ
SRS エアバッグ警告灯	●	●	点灯 - 点滅
CONSULT-	—	●	モニタ

注意：・ SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステムの回路を電気テスター等で点検しないこと。

- ・ SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステムのハーネスは識別として黄色いハーネスコネクタを使用している。

故障診断の進め方

JHS000J1

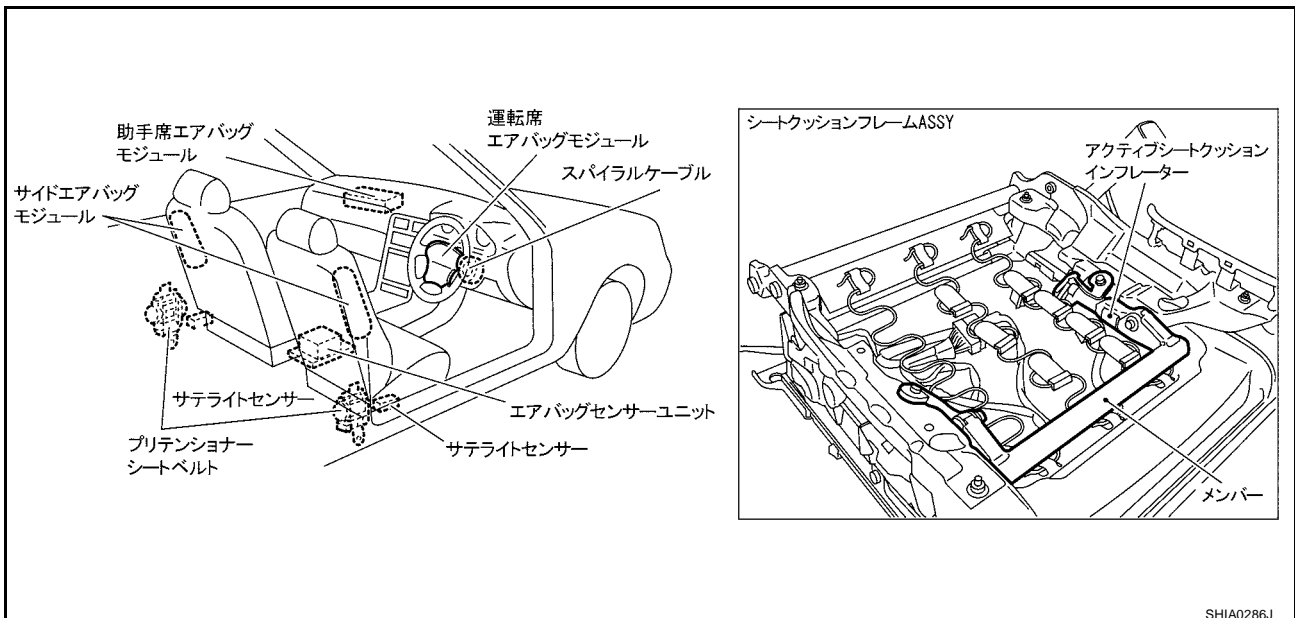
診断前点検

以下の項目を点検する。

- ・ バッテリーの充電状態を点検する。「SC 始動・充電システム」の「[バッテリー](#)」(SC-3 ページ) を参照。
- ・ SRS エアバッグのヒューズに溶断がないか点検する。「PG 電源・アース・回路構成部品」の「[端子配列](#)」(PG-3 ページ) を参照。
- ・ システムコンポーネントからハーネスへの結線。

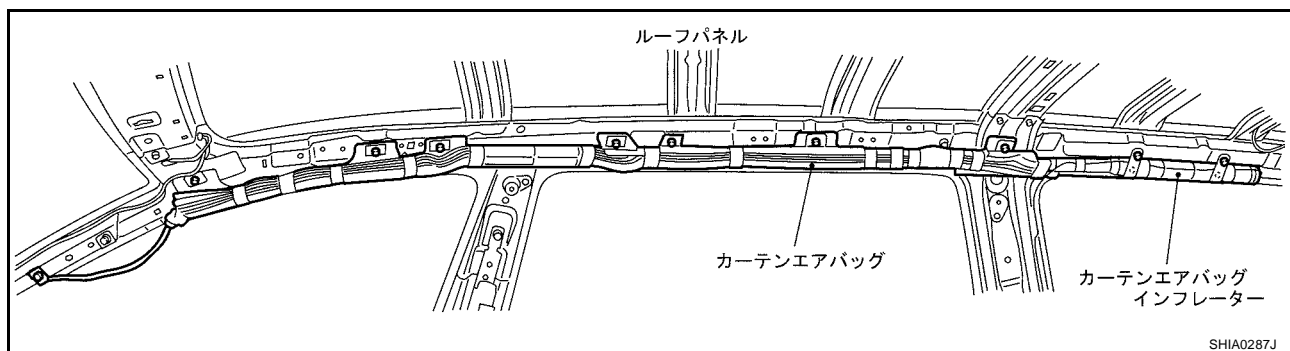
構成部品取り付け位置

JHS000J2



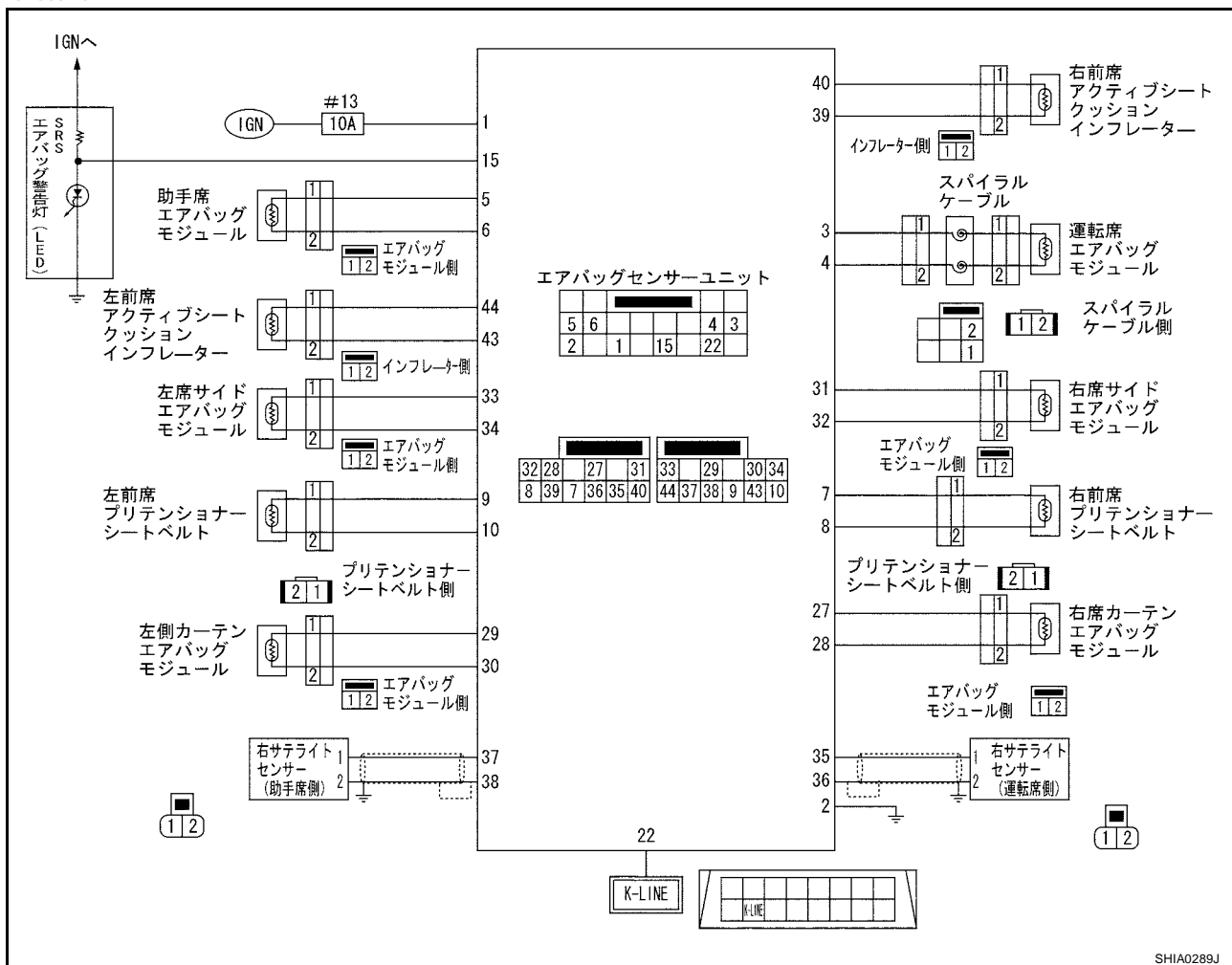
SHIA0286J

故障診断



回路図

JHS000J3



CONSULT- の機能

JHS000J4

自己診断

自己診断

- 現状の自己診断結果を表示する。
- 二系統以上が故障した場合、全ての不具合箇所を表示する。
- 通常は自己診断結果 [記憶] と同じ不具合箇所が表示されるが部品交換等の作業によって修理が完了された不具合箇所は表示されなくなる。
- 修理後「*** 異常なし ***」と表示した場合は必ず「記憶消去」を実行すること。(この操作を怠るとユーザーモードに戻したとき、SRS エアバッグ警告灯が点滅したままとなる。)

自己診断 [記憶]

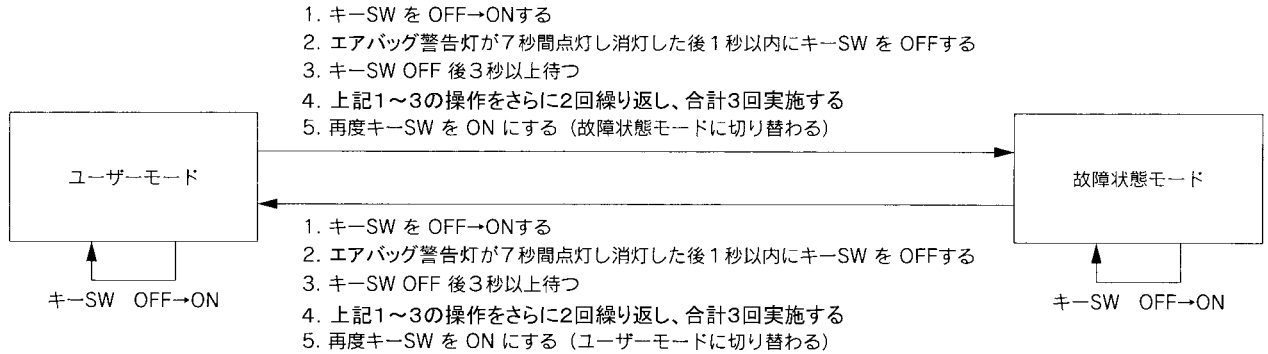
- ユニットが記憶している診断結果を表示する。

自己診断機能 (CONSULT- を使用しない場合)

JHS000J5

- 診断は、ユーザーモード、故障状態モードの2種類がある。
- 診断モード切り替えは、キースイッチ操作で行う。

自己診断モードの切り替え



注意：・ユーザーモード時、故障状態表示（点滅）が無いときは、キー-SW 操作による故障状態モードへの切り替えは行えない。
 ・故障状態モード時、システムが正常な場合、キー-SW OFF→ON 操作でユーザーモードとなる。

SRB0721D

自己診断結果の消去

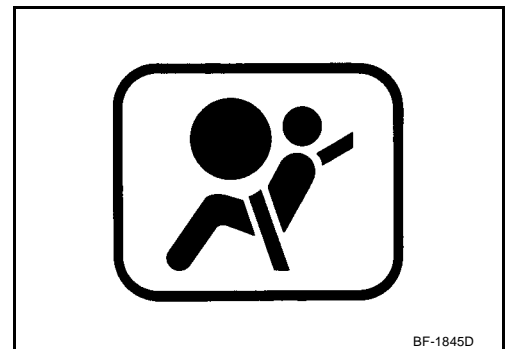
異常箇所修理後、故障状態モードでシステムの状態を確認し、キースイッチを一度 OFF にした後、再度 ON にするとユーザーモードに切り替わり、診断記憶は消去される。

システム点検

JHS000J6

診断手順 1

1. キースイッチを OFF から ON にして、SRS エアバッグ警告灯の点滅を見る。
2. SRS エアバッグ警告灯の点滅を表示例と比較する。



SRS

BF-1845D

故障診断

警告灯表示例		
警告灯表示	故障部位	参照項目
<p>キー SW ON</p> <p>点灯</p> <p>消灯</p> <p>7秒</p> <p>SHIA0011J</p>	正常	
<p>キー SW ON</p> <p>点灯</p> <p>消灯</p> <p>7秒</p> <p>0.5秒</p> <p>0.5秒</p> <p>SHIA0012J</p>	システム故障時	「故障診断要領 (CONSULT—を使用する場合)」 (SRS-9 ページ) 又は、「故障診断要領 (CONSULT—を使用しない場合)」 (SRS-14 ページ) 参照
<p>キー SW ON</p> <p>点灯</p> <p>消灯</p> <p>SHIA0013J</p>	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグ展開 プリテンショナーシートベルト展開 前席アクティブシートクッション展開 	「事故後処理」 (SRS-39 ページ) 参照
<p>キー SW ON</p> <p>点灯</p> <p>消灯</p> <p>SHIA0014J</p>	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーユニット不良 エアバッグ電源回路不良 SRS エアバッグ警告灯回路 <p>エアバッグセンサーユニットまたはエアバッグ警告灯回路故障時 (常時消灯)</p>	「現象別故障診断早見表」 (SRS-18 ページ) 参照

注意: 上記とは、異なる SRS エアバッグ警告灯の作動が出た場合、「故障診断要領 (CONSULT—を使用しない場合)」 (SRS-14 ページ) 参照。

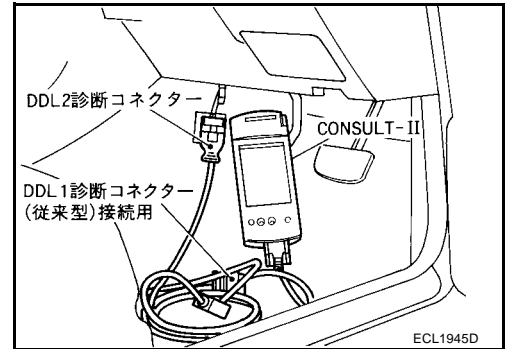
故障診断要領 (CONSULT- を使用する場合)

JHS000J7

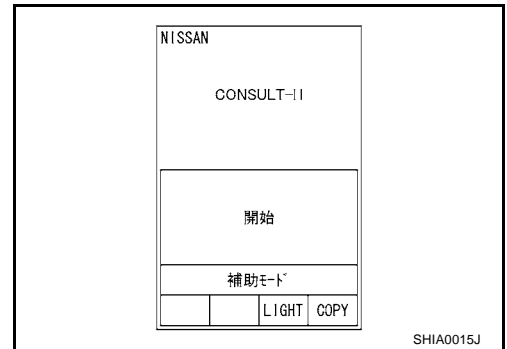
診断手順 1

CONSULT- を使用してSRSエアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの不具合箇所を調べる。

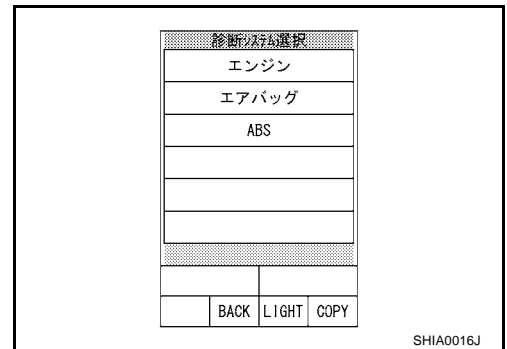
1. キースイッチを OFF にする。
2. CONSULT- を車両側診断コネクタに接続する。



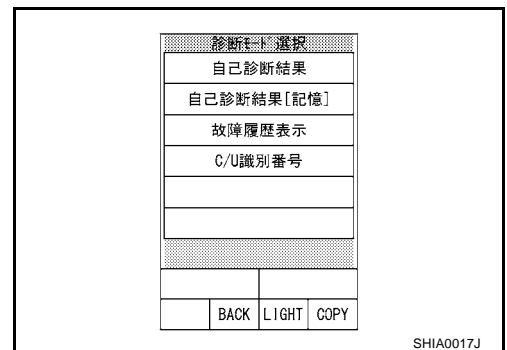
3. キースイッチを ON にする。
4. CONSULT- のタッチキー操作で “ 開始 ” を選択する。



5. CONSULT- の「システム選択」画面で“ エアバッグ ”を選択する。



6. CONSULT- の「診断モード選択」画面で必要な“ 診断モードキー ”を選択する。



A

B

C

D

E

F

G

SRS

I

J

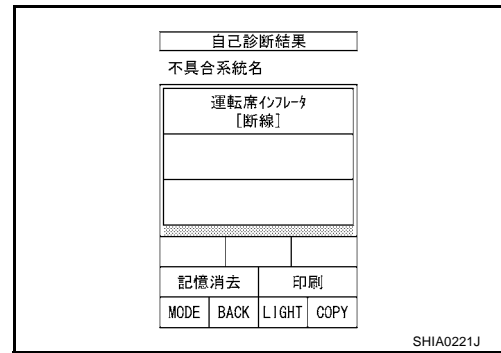
K

L

故障診断

a. “自己診断結果”を選択

- 自己診断結果を表示する。



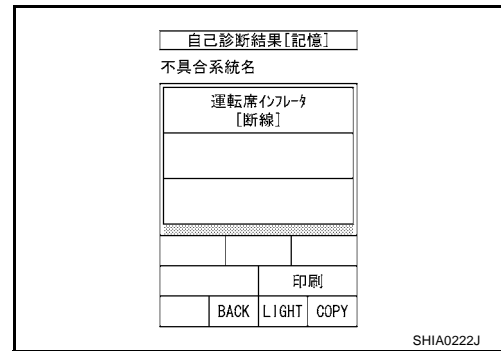
i. システム点検(警告灯表示)で故障表示をし、「自己診断結果」で故障表示されない場合は、下記が考えられる。

- 異常箇所を修理後、「自己診断結果〔記憶〕」の診断結果が消去されていない。
- 過去に間欠故障* が起きていた。

* : 間欠故障とは過去に一度発生した異常が正常に復帰すること「[診断手順 2](#)」(SRS-11 ページ)、「[診断手順 3](#)」(SRS-11 ページ) 参照。

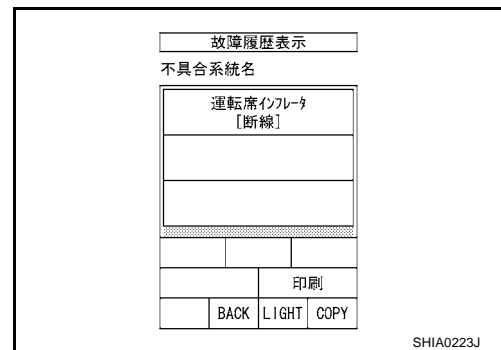
b. “自己診断結果〔記憶〕”を選択

- 自己診断結果で、「記憶消去」が実行されない限り異常箇所を記憶し表示する。



c. “故障履歴表示”を選択

- 自己診断結果で消去した診断結果(エアバッグセンサーユニットが記憶している異常箇所)を表示する。
- 故障履歴表示に記憶された部位は「記憶消去」できない。

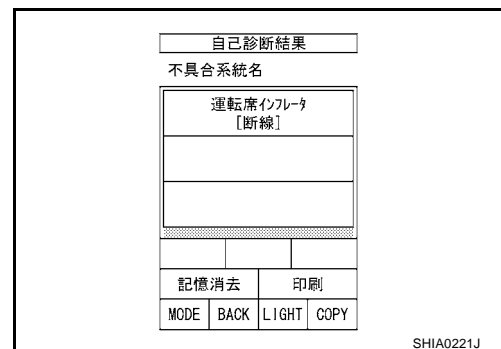


7. 各診断モードの診断結果が表示される。

8. 印刷が必要な時は“印刷”をタッチする。

9. 各診断結果をもとに異常箇所を修理又は交換する。

注意: キースイッチを OFF にして、バッテリーマイナス端子を外してから 3 分以上放置後、作業を行うこと。

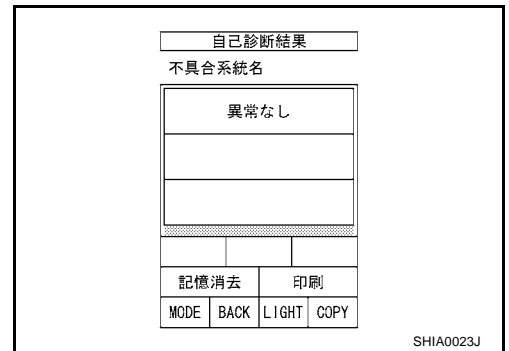


故障診断

10. 異常箇所を修理後、“自己診断結果”をタッチし「異常なし」の表示を確認する。

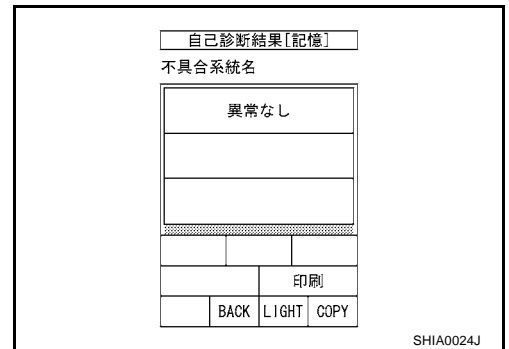
- 表示を確認後、“記憶消去”をタッチする。
- 異常が表示された場合は再度、診断結果をもとに異常箇所を修理又は交換する。

11. 一度、「診断モード選択」画面に戻し、“自己診断結果〔記憶〕”をタッチする。



12. 「自己診断結果〔記憶〕」画面に「異常なし」と表示していることを確認する。

- 異常が表示された場合は再度、「自己診断結果」画面で“記憶消去”をタッチし、表示を確認する。



13. キースイッチを OFF にして CONSULT- を外す。

14. キースイッチを ON にして SRS エアバッグ警告灯 (ユーザーモード) でシステムの点検を行う。

15. 異常が無いことを確認し、診断を終了する。

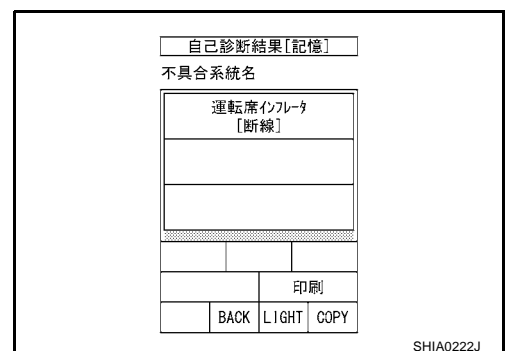
診断手順 2

警告灯 (ユーザーモード) では故障表示するが、CONSULT- 「自己診断結果」では故障表示しない場合、以下を実行する。

- 自己診断結果の「記憶消去」を行う。
- 自己診断結果〔記憶〕、故障履歴診断を行う。その後、[「診断手順 3」\(SRS-11 ページ\)](#) へ。
- バッテリー電圧が 9V 以上あるか点検する。9V 以下の場合、バッテリーを充電する。

診断手順 3

- CONSULT- “自己診断結果〔記憶〕”を選択し、表示された異常箇所の修理又は交換を行う。
- 「自己診断結果〔記憶〕」で異常表示が無い場合は CONSULT- “故障履歴表示”を選択し、表示された異常箇所の修理又は交換を行う。



自己診断表

注意: • 自己診断結果、自己診断結果〔記憶〕及び故障履歴表示は、同じ画面を表示する。

- 整備内容は、各項目の順に実施する。各項目を実施するたびに正常か異常かを確認し、正常に復帰した場合、残りの項目は実施しなくても良い。
- 修理完了後は、必ず記憶消去を実行し、再度 CONSULT- で確認すること。

故障診断

自己診断項目	異常検出条件		整備内容
異常なし	ユーザーモードでエアバッグ警灯灯による故障表示	<ul style="list-style-type: none"> • 故障修理後、自己診断結果 [記憶] の、修理前の診断結果が消されていない • 過去に間欠故障が起きていた 	<ul style="list-style-type: none"> • 「診断手順 2」(SRS-11 ページ)、 「診断手順 3」(SRS-11 ページ) 参照
	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリー電圧の低下 		現象別故障診断早見表「 現象別故障診断早見表 」(SRS-18 ページ) 参照。
	<ul style="list-style-type: none"> • システム正常 		-
運転席インフレーター [断線]	<ul style="list-style-type: none"> • 運転席エアバッグインフレーター回路断線 (スパイラルケーブルを含む) 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクターの接続状態点検 2. スパイラルケーブル導通点検を行う 「スパイラルケーブルの点検」(SRS-22 ページ) 参照 3. 運転席エアバッグモジュール交換 (処分する前に展開する) 4. エアバッグセンサーユニット交換 5. ハーネス不良
運転席インフレーター [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 運転席エアバッグインフレーター回路電源回路との短絡 (スパイラルケーブルを含む) 		
運転席インフレーター [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 運転席エアバッグインフレーター回路アース回路との短絡 (スパイラルケーブルを含む) 		
運転席インフレーター [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 運転席エアバッグインフレーター回路線間短絡 (スパイラルケーブルを含む) 		
助手席インフレーター [断線]	<ul style="list-style-type: none"> • 助手席エアバッグインフレーター回路断線 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクターの接続状態点検 2. 助手席エアバッグモジュール交換 (処分する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
助手席インフレーター [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 助手席エアバッグインフレーター回路電源回路との短絡 		
助手席インフレーター [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 助手席エアバッグインフレーター回路アース回路との短絡 		
助手席インフレーター [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 助手席エアバッグインフレーター回路線間短絡 		
右席サイドインフレーター [断線]	<ul style="list-style-type: none"> • 右席サイドエアバッグインフレーター回路断線 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクターの接続状態点検 2. 右席サイドエアバッグモジュール交換 (処分する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
右席サイドインフレーター [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 右席サイドエアバッグインフレーター回路電源回路との短絡 		
右席サイドインフレーター [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 右席サイドエアバッグインフレーター回路アース回路との短絡 		
右席サイドインフレーター [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 右席サイドエアバッグインフレーター回路線間短絡 		
左席サイドインフレーター [断線]	<ul style="list-style-type: none"> • 左席サイドエアバッグインフレーター回路断線 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクターの接続状態点検 2. 左席サイドエアバッグモジュール交換 (処分する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
左席サイドインフレーター [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 左席サイドエアバッグインフレーター回路電源回路との短絡 		
左席サイドインフレーター [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 左席サイドエアバッグインフレーター回路アース回路との短絡 		
左席サイドインフレーター [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> • 左席サイドエアバッグインフレーター回路線間短絡 		

故障診断

自己診断項目	異常検出条件	整備内容
右席カーテンエアバッグインフレーター [断線]	<ul style="list-style-type: none"> 右側カーテンエアバッグインフレーター回路断線 	<ol style="list-style-type: none"> ハーネス及びコネクターの接続状態点検 右側カーテンエアバッグモジュール交換（処分する前に展開する） エアバッグセンサーユニット交換 ハーネス不良
右席カーテンエアバッグインフレーター [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 右側カーテンエアバッグインフレーター回路電源回路との短絡 	
右席カーテンエアバッグインフレーター [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 右側カーテンエアバッグインフレーター回路アース回路との短絡 	
右席カーテンエアバッグインフレーター [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 右側カーテンエアバッグインフレーター回路線間短絡 	
左席カーテンエアバッグインフレーター [断線]	<ul style="list-style-type: none"> 左側カーテンエアバッグインフレーター回路断線 	<ol style="list-style-type: none"> ハーネス及びコネクターの接続状態点検 左側カーテンエアバッグモジュール交換（処分する前に展開する） エアバッグセンサーユニット交換 ハーネス不良
左席カーテンエアバッグインフレーター [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 左側カーテンエアバッグインフレーター回路電源回路との短絡 	
左席カーテンエアバッグインフレーター [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 左側カーテンエアバッグインフレーター回路アース回路との短絡 	
左席カーテンエアバッグインフレーター [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 左側カーテンエアバッグインフレーター回路線間短絡 	
右サテライトセンサ [故障]	<ul style="list-style-type: none"> 右側サテライトセンサー故障 	<ol style="list-style-type: none"> 右側サテライトセンサーのコネクター接続状態点検 右側サテライトセンサー交換 エアバッグセンサーユニット交換 ハーネス不良
右サテライトセンサ [通信異常]	<ul style="list-style-type: none"> 右側サテライトセンサー通信異常 	
左サテライトセンサ [故障]	<ul style="list-style-type: none"> 左側サテライトセンサー故障 	<ol style="list-style-type: none"> 左側サテライトセンサーのコネクター接続状態点検 左側サテライトセンサー交換 エアバッグセンサーユニット交換 ハーネス不良
左サテライトセンサ [通信異常]	<ul style="list-style-type: none"> 右側サテライトセンサー通信異常 	
右前席プリテンショナー [断線]	<ul style="list-style-type: none"> 右前席プリテンショナーシートベルト回路断線 	<ol style="list-style-type: none"> ハーネス及びコネクター接続状態点検 右前席プリテンショナーシートベルト交換 エアバッグセンサーユニット交換 ハーネス不良
右前席プリテンショナー [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 右前席プリテンショナーシートベルト回路電源回路との短絡 	
右前席プリテンショナー [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 右前席プリテンショナーシートベルト回路アース回路との短絡 	
右前席プリテンショナー [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 右前席プリテンショナーシートベルト回路線間短絡 	
左前席プリテンショナー [断線]	<ul style="list-style-type: none"> 左前席プリテンショナーシートベルト回路断線 	<ol style="list-style-type: none"> ハーネス及びコネクター接続状態点検 左前席プリテンショナーシートベルト交換 エアバッグセンサーユニット交換 ハーネス不良
左前席プリテンショナー [電源短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 左前席プリテンショナーシートベルト回路電源回路との短絡 	
左前席プリテンショナー [GND 短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 左前席プリテンショナーシートベルト回路アース回路との短絡 	
左前席プリテンショナー [線間短絡]	<ul style="list-style-type: none"> 左前席プリテンショナーシートベルト回路線間短絡 	

A

B

C

D

E

F

G

SRS

I

J

K

L

故障診断

自己診断項目	異常検出条件	整備内容
右席 CRD [断線]	• 右前席アクティブシートクッションインフレーター回路断線	1. ハーネス及びコネクターの接続状態点検 2. 右前席アクティブシートクッションユニット交換（処分する前に展開する） 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
右席 CRD [電源短絡]	• 右前席アクティブシートクッションインフレーター回路電源回路との短絡	
右席 CRD [GND 短絡]	• 右前席アクティブシートクッションインフレーター回路アース回路との短絡	
右席 CRD [線間短絡]	• 右前席アクティブシートクッションインフレーター回路線間短絡	
左席 CRD [断線]	• 左前席アクティブシートクッションインフレーター回路断線	1. ハーネス及びコネクターの接続状態点検 2. 左前席アクティブシートクッションユニット交換（処分する前に展開する） 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
左席 CRD [電源短絡]	• 左前席アクティブシートクッションインフレーター回路電源回路との短絡	
左席 CRD [GND 短絡]	• 左前席アクティブシートクッションインフレーター回路アース回路との短絡	
左席 CRD [線間短絡]	• 左前席アクティブシートクッションインフレーター回路線間短絡	
コントロールユニット	• エアバッグセンサーユニット故障	1. ハーネス及びコネクタ接続状態点検 2. エアバッグセンサーユニット交換 3. ハーネス不良

故障診断要領（CONSULT- を使用しない場合）

JHS000J8

診断手順 1

エアバッグ警告灯を使用して SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステムの不具合箇所を診断する。

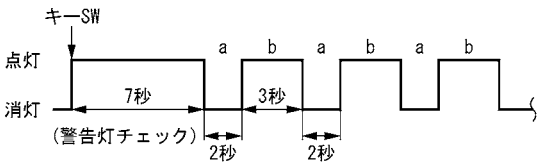
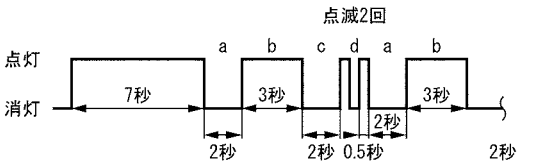
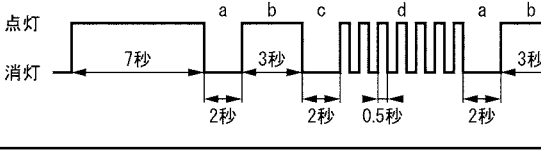
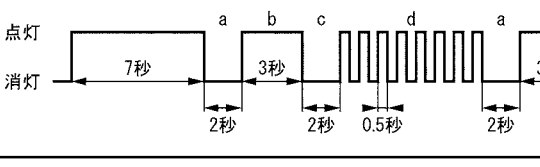
注意： ユーザーモードは故障がなければ故障状態モードには切り替えられない。

1. キースイッチを OFF→ON にする。
2. SRS エアバッグ警告灯が 7 秒間点灯し、消灯した後 1 秒間以内にキースイッチを OFF にする。
3. キースイッチ OFF 後 3 秒以上待つ。
4. 上記 1 から 3 の操作を更に 2 回繰り返し、合計 3 回実施する。
5. 再度、キースイッチを ON にする、警告灯は故障状態モードで点滅する。
6. 警告灯の点滅回数で異常箇所を表示する。
7. キースイッチを OFF し、バッテリーマイナス端子を外す。
8. 警告灯表示結果を基に異常箇所を修理又は交換する。
9. 修理作業完了後、バッテリーを接続し、キースイッチを ON にする。
10. 故障状態モードでシステムの正常を確認し、キースイッチを一度 OFF にした後、再度 ON にするとユーザーモードに切り換わり、診断記憶は、消去される。

故障診断

SRS エアバッグ警告灯故障状態モード表示

故障修理が終わる毎に SRS エアバッグ警告灯又は、CONSULT- を使用して異常がないか確認する。故障がまだ診断されてるのならば、次に進む。故障が修理されているなら、その後の作業は必要ない。

〈正常・修理後、診断結果が消去されていない〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から b を繰り返す</p> 	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 記憶消去を行う
SHIA0026J	
〈運転席エアバッグモジュールインフレーター〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から d を繰り返す</p> <p>d 一点滅 2 回で運転席エアバッグモジュール不良を示す</p> 	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. スパイラルケーブル導通点検 3. 運転席エアバッグモジュール交換 (廃却する前に展開する) 4. エアバッグセンサーユニット交換 5. ハーネス不良
SHIA0027J	
〈エアバッグセンサーユニット〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から d を繰り返す</p> <p>d 一点滅 7 回でエアバッグセンサーユニット不良を示す</p> 	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. エアバッグセンサーユニット交換 3. ハーネス不良
SHIA0028J	
〈助手席エアバッグモジュールインフレーター〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から d を繰り返す</p> <p>d 一点滅 8 回で助手席エアバッグモジュール不良を示す</p> 	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 助手席エアバッグモジュール交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
SHIA0029J	

故障診断

〈右前席プリテンショナーシートベルト〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から d を繰り返す</p> <p>d 一点滅 1 回で右席プリテンショナーシートベルト不良を示す</p>	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 右前席プリテンショナーシートベルト交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
SHIA0154J	
〈左前席プリテンショナーシートベルト〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から d を繰り返す</p> <p>d 一点滅 3 回で左席プリテンショナーシートベルト不良を示す</p>	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 左前席プリテンショナーシートベルト交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
SHIA0155J	
〈右側サテライトセンサー〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から f を繰り返す</p> <p>f 一点滅 3 回で右側サテライトセンサー不良を示す</p>	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 右側サテライトセンサー交換 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
SHIA0156J	
〈左側サテライトセンサー〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から f を繰り返す</p> <p>f 一点滅 4 回で左側サテライトセンサー不良を示す</p>	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 左側サテライトセンサー交換 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
SHIA0157J	
〈右席サイドエアバッグモジュール〉	
<p>点滅表示</p> <p>a から f を繰り返す</p> <p>f 一点滅 1 回で右席サイドエアバッグモジュール不良を示す</p>	<p>整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 右席サイドエアバッグモジュール交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
SHIA0034J	

故障診断

〈左席サイドエアバッグモジュール〉	
点滅表示	整備内容
a から f を繰り返す f 一点滅2回で左席サイドエアバッグモジュール不良を示す	1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 左席サイドエアバッグモジュール交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
	SHIA0035J

〈右席カーテンエアバッグモジュール〉	
点滅表示	整備内容
a から f を繰り返す f 一点滅5回で左側サイドエアバッグモジュール不良を示す	1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 右側カーテンエアバッグモジュール交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
	SHIA0158J

〈左席カーテンエアバッグモジュール〉	
点滅表示	整備内容
a から f を繰り返す f 一点滅6回で左側カーテンエアバッグモジュール不良を示す	1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 左側カーテンエアバッグモジュール交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
	SHIA0159J

〈右前席アクティブシートクッションインフレーター〉	
点滅表示	整備内容
a から d を繰り返す d 一点滅9回で右前席アクティブシートクッションインフレーター不良を示す	1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 右前席アクティブシートクッション (シートクッションフレーム一体) 交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
	SHIA0248J

〈左前席アクティブシートクッションインフレーター〉	
点滅表示	整備内容
a から d を繰り返す d 一点滅10回で左前席アクティブシートクッションインフレーター不良を示す	1. ハーネス及びコネクタ接続不良 2. 左前席アクティブシートクッション (シートクッションフレーム一体) 交換 (廃却する前に展開する) 3. エアバッグセンサーユニット交換 4. ハーネス不良
	SHIA0247J

故障診断

現象別故障診断早見表

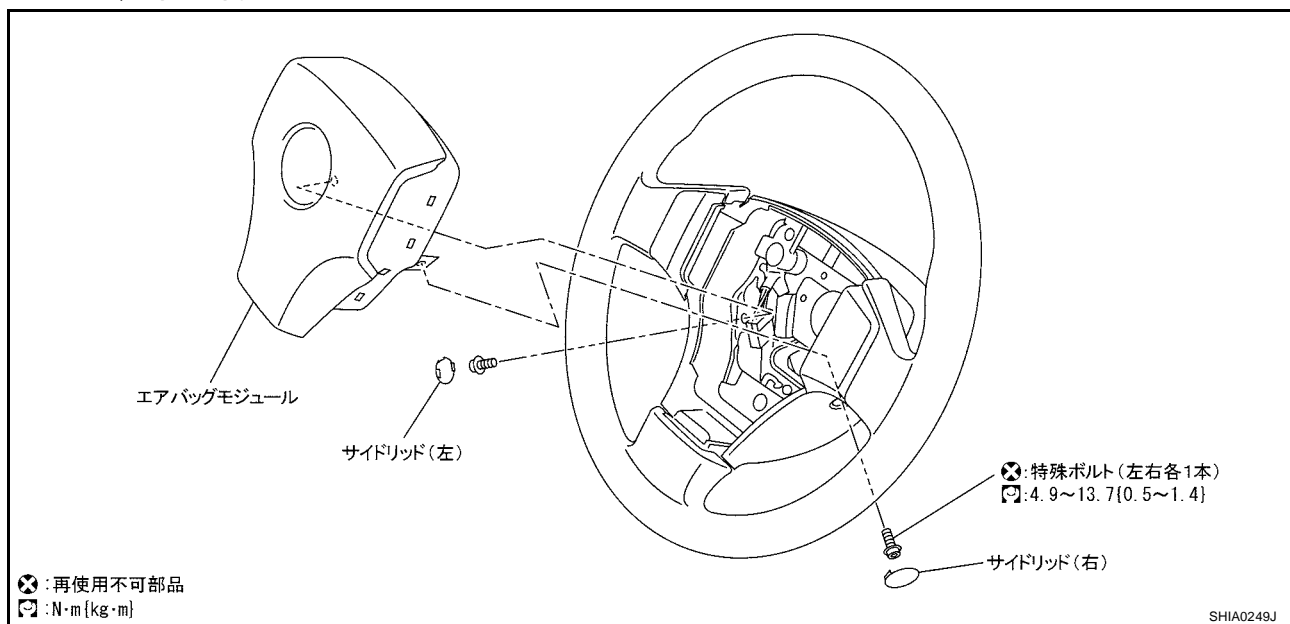
JHS000J9

現象	不具合経路	推定不具合箇所
SRS エアバッグ警告灯が点灯しない（他の警告灯類は点灯）	SRS エアバッグ警告灯回路	<ul style="list-style-type: none"> • 警告灯及びコンビネーションメーター内部回路不良 • エアバッグセンサーユニット～コンビネーションメーター間ハーネス不良（短絡）
	エアバッグセンサーユニット内部	エアバッグセンサーユニット不良。
SRS エアバッグ警告灯が消灯しない（常時点灯）	エアバッグ電源回路	<ul style="list-style-type: none"> • エアバッグ電源ヒューズ切れ • ハーネス又はコネクタ接続不良 • エアバッグ電源ハーネス不良
	SRS エアバッグ警告灯回路	<ul style="list-style-type: none"> • ハーネス又はコネクタ接続不良 • コンビネーションメーター～エアバッグセンサーユニット間ハーネス不良（断線） • コンビネーションメーター内部回路不良
	エアバッグセンサーユニット内部	エアバッグセンサーユニット不良。
SRS エアバッグ警告灯が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリー電圧の低下。（約 9V 以下） • CONSULT- による診断（自己診断、故障履歴診断）又は、CONSULT- を使わない診断（自己診断）によるシステム診断を実施し、不具合箇所を修理する • 不具合箇所修理後故障記憶を消去する 	

注意： バッテリー電圧の低下により、SRS エアバッグ警告灯が点滅の場合、自己診断のユーザーモードから故障状態モードへの切り換えはできない。また、CONSULT- による診断では「*** 異常なし ***」と表示される。

運転席エアバッグモジュール

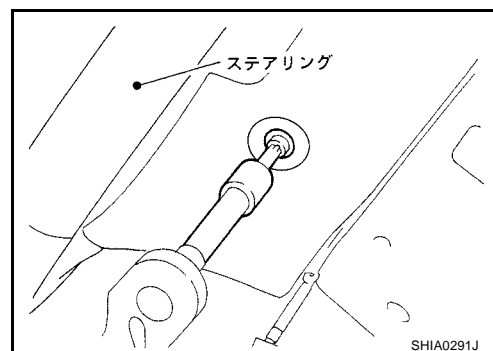
取り外し、取り付け



取り外し

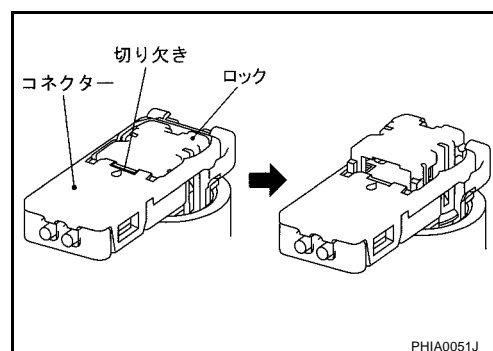
- 注意:**
- 取外作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。
 - 取外作業は、エアバッグ正面を避け、側面で行うこと。

1. 左右サイドリッドを取り外す。
2. 左右の特殊ボルト (T 30 型) を外しエアバッグモジュールを外す。



3. エアバッグハーネスコネクタを外し、エアバッグモジュールを取り外す。

- 注意:**
- エアバッグハーネスコネクタの脱着は、テープを巻いた精密ドライバーを切り欠き部に差し込み、ロックを引き上げてコネクタを取り外す。
 - コネクタの取り付けは、ロックを引き上げた状態で取り付け、ロックを押し込む。
 - ロックが確実に押し込まれている事を確認すること。



- 注意:**
- 運転席エアバッグモジュールを単品で置くときはパッド面を上にして置くこと。
 - エアバッグモジュールのコネクタに、ドライバー等の異物を差し込まないこと。(静電気による作動防止)
 - エアバッグモジュールは非分解のため、インフレーターを取り外しを行わないこと。
 - 特殊ボルトは再使用不可部品のため、新品に交換すること。
 - エアバッグモジュールに落下等による衝撃を与えないこと。衝撃を与えた場合は交換すること。

運転席エアバッグモジュール

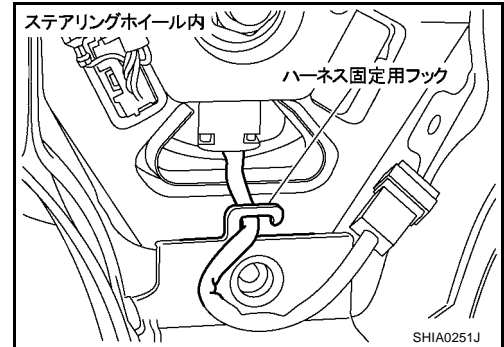
- エアバッグモジュールは 90 °以上の高温になる所に置かないこと。
- エアバッグモジュールにオイル、グリース、洗浄油、水等を付着させないこと。

取り付け

注意: • 取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取付作業は、エアバッグ正面を避け、側面で行うこと。

1. エアバッグモジュールコネクタを接続する。
 - エアバッグハーネスをハーネス固定用フックに固定すること。
2. 新しい特殊ボルトを使用してエアバッグモジュールを取り付ける。
3. サイドリッドを取り付ける。
4. バッテリーマイナス端子を接続する。
5. 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯、CONSULT- により、システムが正常か異常かを確認すること。
6. 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯により、システムが正常か異常かを確認する。



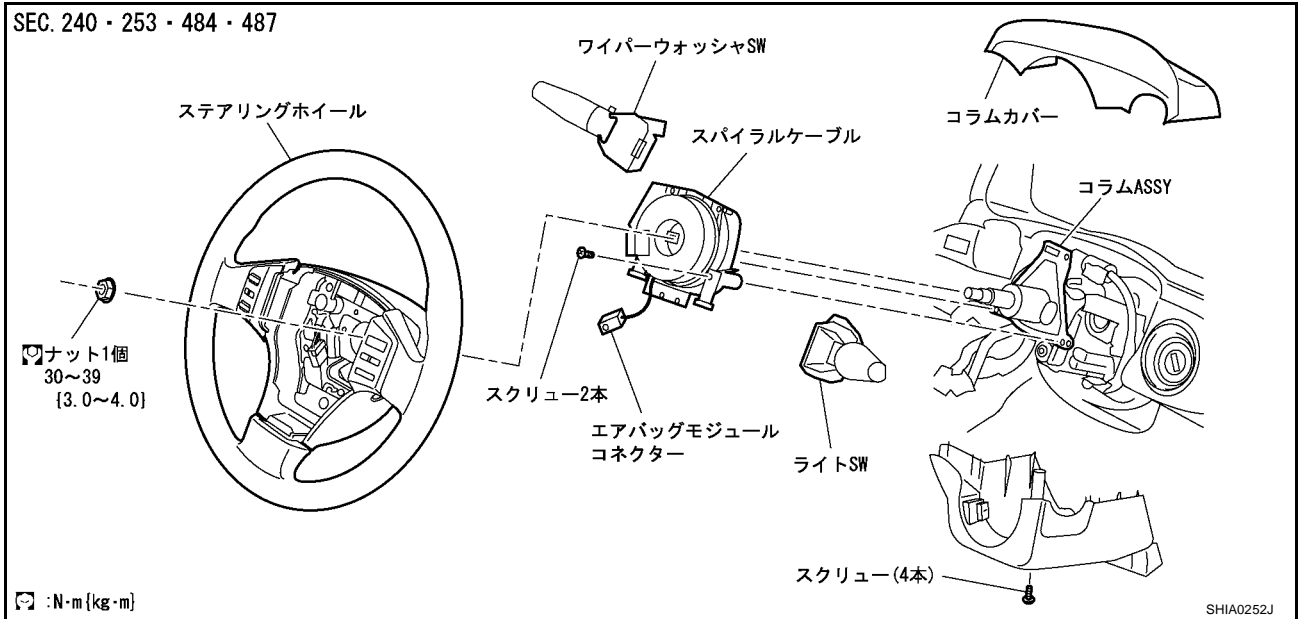
7. SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT- で記憶消去を行うこと。
8. 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示する場合、故障診断を実施し、異常箇所を修理すること。
[「故障診断」\(SRS-4 ページ\)](#) を参照。

スパイラルケーブル

PF:25554

取り外し、取り付け

JHS000JB



注意: 取り外し、取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

取り外し

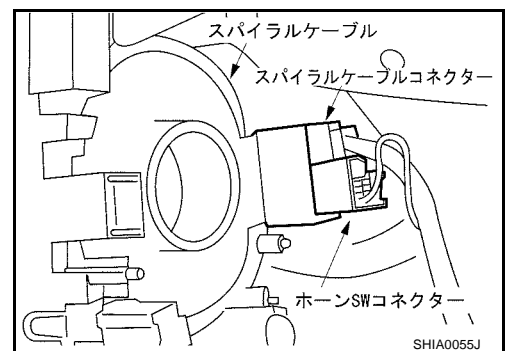
1. ステアリングホイールを中立状態にする。
2. 運転席エアバッグモジュールを取り外す。「[運転席エアバッグモジュール](#)」(SRS-19 ページ) を参照。
3. ステアリングホイールを外す。
4. ステアリングコラムカバーを外す。「[インストルメント ASSY](#)」(IP-3 ページ) を参照。
5. スクリューを2本外し、上方の樹脂爪を押しながらスパイラルケーブルを外す。

- 注意:**
- スパイラルケーブルを分解しない。
 - スパイラルケーブルに油脂類を塗布しない。

6. ホーンスイッチコネクターを外してから、スパイラルケーブルコネクターを取り外す。

注意: ステアリングホイールを叩いたり、衝撃を与えたりしないこと。

7. スパイラルケーブルからワイパー・ウォッシャースイッチ、ライトスイッチを外す。



取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

スパイラルケーブル

注意： • 不適当な位置に取り付けられると、スパイラルケーブルはステアリング操作により切れることがある。

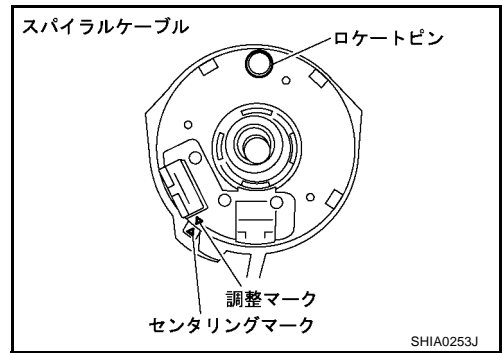
• 中立位置は、スパイラルケーブルを右回しに巻締まるまで軽く回し、次に逆回し（約 2.5 回転）をしてセンタリングマークと調整マークを合わせて止める。（サービス部品は中立位置を合わせた状態でストッパーで固定されているため、ストッパーを外したら、そのまま取付可能）

• スパイラルケーブルをむやみに空回しさせないこと。また、巻締まり以上に回転させないこと。（ケーブル切れの原因となる）

• 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯によりシステムが正常か異常かを確認すること。

• SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合は、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT- で記憶消去を行うこと。

• 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示する場合、故障診断「システム点検」(SRS-7 ページ) を実施し、異常箇所を修理すること。



スパイラルケーブルの点検

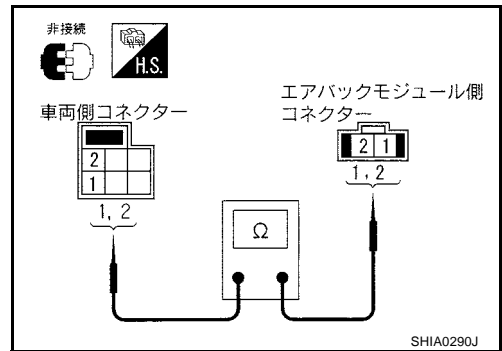
JHS000JC

• スパイラルケーブルのエアバッグモジュール側コネクタ及び車両側ハーネスコネクタを外す。

• 各端子の導通を点検する。

1 番端子 ~ 1 番端子 : 導通あり

2 番端子 ~ 2 番端子 : 導通あり



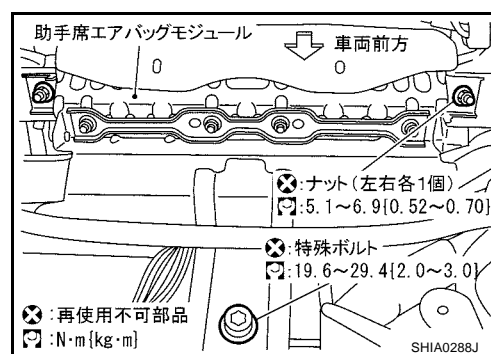
助手席エアバッグモジュール

取り外し、取り付け

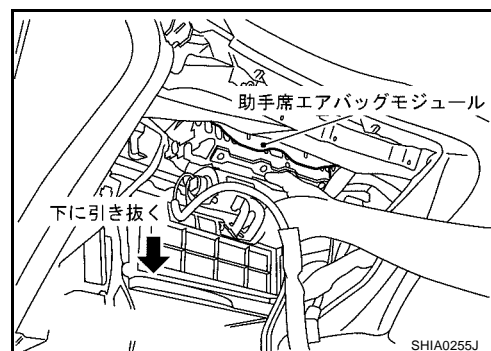
取り外し

注意: • 取外作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取外作業は、エアバッグ正面を避け、側面で行うこと。
 - 助手席エアバッグモジュールは、コーションラベル面を上にしておくこと。
 - 助手席エアバッグモジュールに落下等の衝撃を加えないこと。衝撃を加えた場合、助手席エアバッグモジュールを交換すること。
1. グローブボックス、インストロアアシストパネル及びセンターボックス ASSY を取り外す。「IP インstrument パネル」の「[インストロアアシストパネル](#)」(IP-3 ページ) を参照。
 2. NAVI コントロールユニットを取り外す。(ナビゲーションシステム付車)「AV オーディオ・テレビ・ナビゲーション・電話」の「[NAVI コントロールユニット取り外し、取り付け](#)」(AV-67 ページ) (CD 方式)、「[NAVI コントロールユニット取り外し、取り付け](#)」(AV-128 ページ) (DVD 方式) を参照。
 3. エアバッグコネクターをエアバッグハーネスから外す。
 4. 取付ボルト及びナットを外す。



5. 助手席エアバッグモジュールに衝撃を与えないように車両後方から、インストロアアシストパネルとステアリングメンバーの間から下に引きぬいて取り外す。



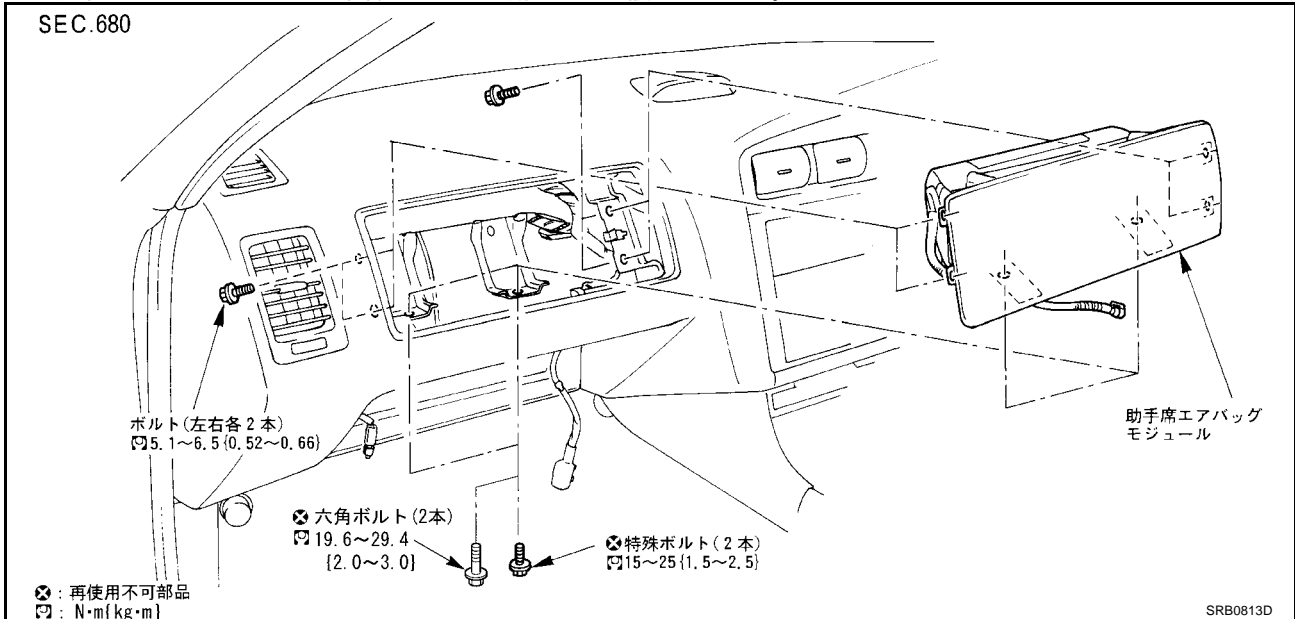
取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

助手席エアバッグモジュール

助手席エアバッグモジュール取付ボルトに六角ボルトを設定しました。

SEC.680



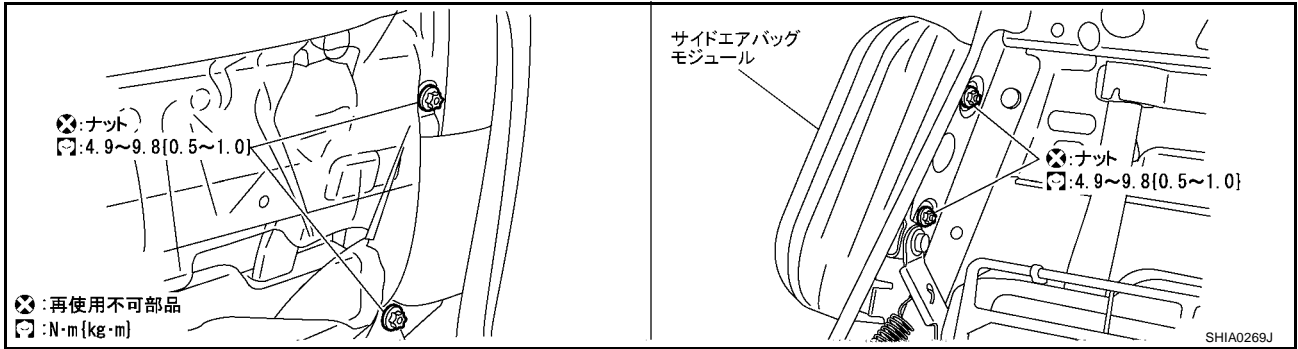
- 注意:**
- 取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。
 - 取付作業は、エアバッグ正面を避け、側面で行うこと。
 - 取付時、ハーネスのかみ込み、損傷等に十分注意すること。
 - 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯により、システムが正常か異常かを確認すること。
 - SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT- で記憶消去を行うこと。
 - 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示する場合、「[故障診断](#)」(SRS-4 ページ) を実施し、異常箇所を修理すること。

前席サイドエアバッグモジュール

PFP:K8EH0

取り外し、取り付け

JHS000JE



取り外し

注意： 取外作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取外作業は、エアバッグ正面を避け、後面で行うこと。
- 前席サイドエアバッグモジュールは、スタッドボルト側を下にして立てて置くこと。
- 前席サイドエアバッグモジュールに落下等の衝撃を加えないこと。衝撃を加えた場合、前席サイドエアバッグモジュールを交換すること。

1. シートバッグトリムを、めくり上げる。
2. 取付ナットを外し、サイドエアバッグモジュールを覆っているインナークロスを取り外す。
3. 取付ナットを外し、サイドエアバッグモジュールを取り外す。
4. ハーネスクリップを取り外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

注意： 取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

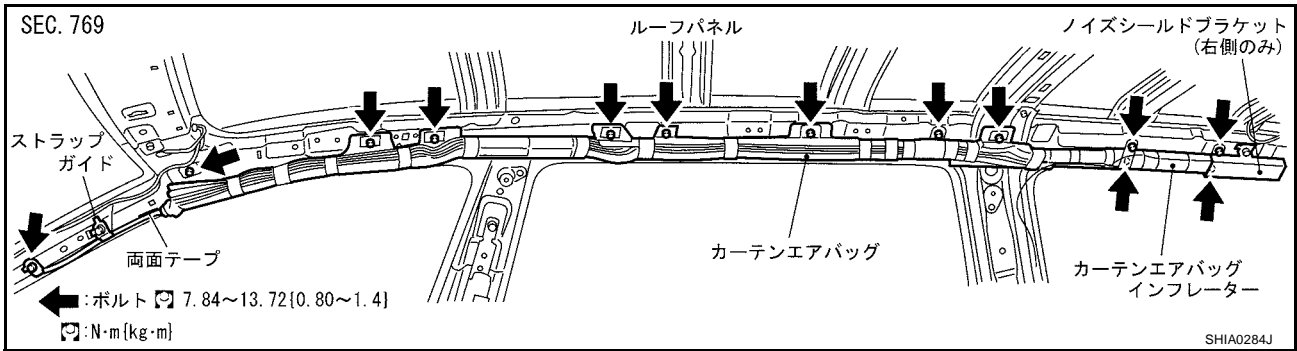
- 取付作業は、エアバッグ正面を避け、後面で行うこと。
- エアバッグハーネスを傷つけないように注意する。
- エアバッグモジュールに落下等による衝撃を与えないこと。衝撃を与えた場合、交換すること。
- 取付時、ハーネスのかみ込み、損傷等に十分注意すること。
- 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯により、システムが正常か異常かを確認すること。
- SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT-III で記憶消去を行うこと。
- 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示する場合、「故障診断」(SRS-4 ページ) を実施し、異常箇所を修理すること。

カーテンエアバッグモジュール

PFP:985P0

取り外し、取り付け

JHS000JF



取り外し

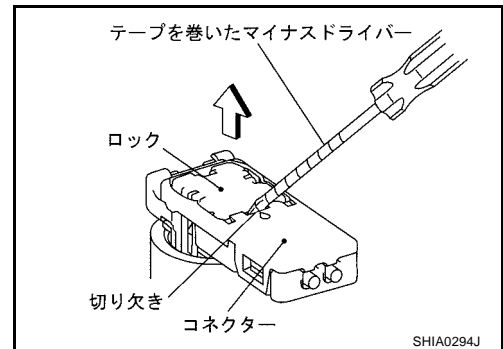
注意: • 取外作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取外、取付作業は、エアバッグ正面を避けて行うこと。
- エアバッグモジュールに落下等による衝撃を与えないこと。衝撃を与えた場合、交換となる。

1. ヘッドライニングを取り外す。「EI 外装・内装」の「[ヘッドライニング](#)」(EI-37 ページ) を参照。
2. エアバッグハーネスコネクタを外す。

注意: • エアバッグハーネスコネクタの脱着は、テープを巻いた精密ドライバーを切り欠き部に差し込み、ロックを引き上げてコネクタを取り外す。

- コネクタの取り付けは、ロックを引き上げた状態で取り付け、ロックを押し込む。
- ロックが確実に押し込まれている事を確認すること。



3. カーテンエアバッグモジュールを取り付けているボルトを取り外し、カーテンエアバッグモジュールを取り外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

注意: • 取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯により、システムが正常か異常かを確認すること。
- 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示する場合、故障診断を実施し、異常箇所を修理すること。
- SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT-**III** で記憶消去を行うこと。「[故障診断](#)」(SRS-4 ページ) を参照。

アクティブシートクッション

PF:87000

取り外し、取り付け

JHS000JG

- 取り外し及び取付要領は、「[フロントシート](#)」(SE-9 ページ) を参照。

A

B

C

D

E

F

G

SRS

I

J

K

L

プリテンショナーシートベルト

PPF:86884

取り外し、取り付け

JHS000JH

- 取り外し及び取付要領は、「SB シートベルト」の[「フロントシートベルト」\(SB-3 ページ\)](#)を参照。

サテライトセンサー 取り外し、取り付け

PF9:98830

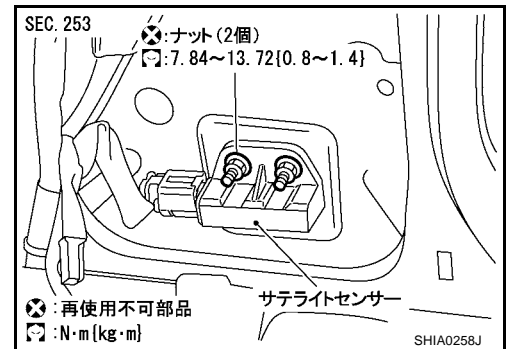
JHS000JI

取り外し

注意：• 取外作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- サテライトセンサーに落下等の衝撃を加えないこと。衝撃を加えた場合、サテライトセンサーを交換すること。
- 前席 SRS サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグ作動時は必ず交換すること。

1. フロントシートベルトを取り外す。「SB シートベルト」の「[フロントシートベルト](#)」(SB-3 ページ) 参照。
2. サテライトセンサーコネクタを外す。
3. 取付ナットを外し、サテライトセンサーを取り外す。



取り付け

取り付け手順は、取り外しと逆の手順で行う。

注意：• 取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取付時、ハーネスのかみ込み、損傷等に十分注意すること。
- 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯により、システムが正常か異常かを確認すること。
- SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT- で記憶消去を行うこと。
- 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示する場合、「[故障診断](#)」(SRS-4 ページ) を実施し、異常箇所を修理すること。

SRS

エアバッグセンサーユニット

FFP:28556

取り外し、取り付け

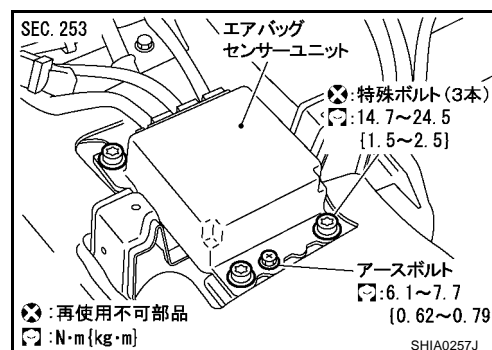
JHS000JJ

取り外し

注意: • 取外作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取外作業に、エアツール及び電動ツールは使用しないこと。
- SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトが作動した場合、必ず交換すること。

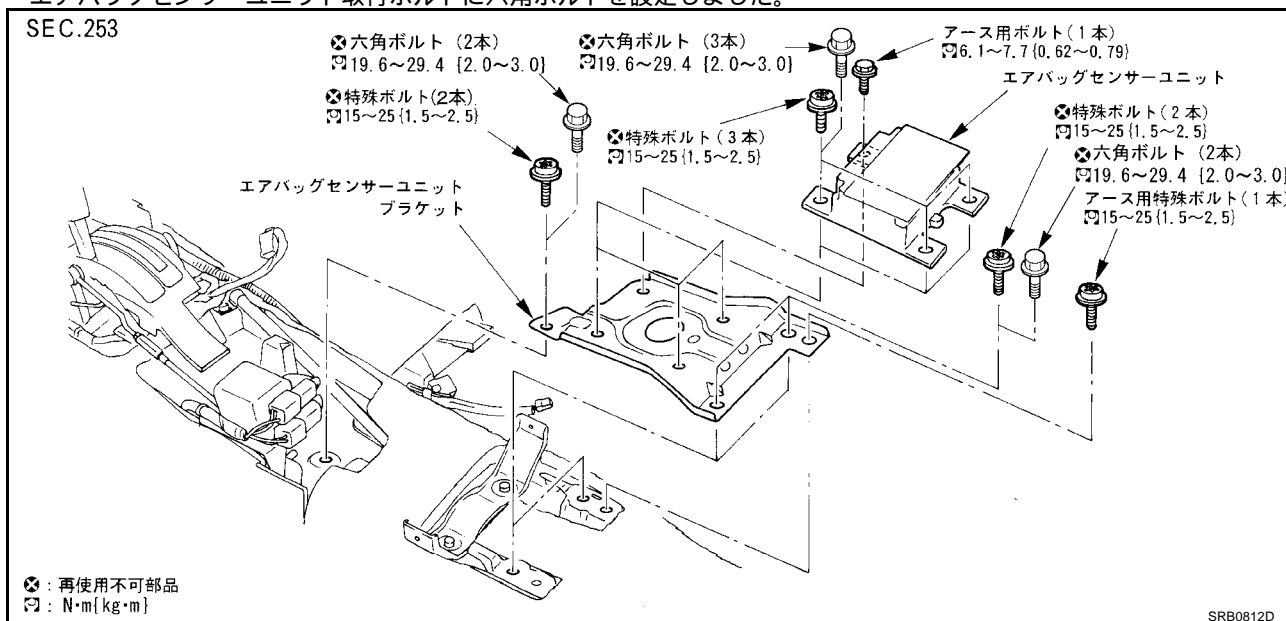
1. エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの各ハーネスコネクタを外す。
2. コンソールを取り外す。「IP インストルメントパネル」の「[インストルメント ASSY](#)」(IP-3 ページ) 参照。
3. エアバッグセンサーユニットコネクタを外す。
4. 取付ボルトを外し、エアバッグセンサーユニットを取り外す。



取り付け

取り付けは取り外しと逆の手順で行う。

エアバッグセンサーユニット取付ボルトに六角ボルトを設定しました。



注意: • 取付作業は、キースイッチ OFF でバッテリーマイナス端子を外し、3分以上放置後に行うこと。

- 取付作業に、エアツール及び電動ツールは使用しないこと。
- 取付ボルトは再使用不可部品のため、新品に交換すること。
- 作業終了後 SRS エアバッグ警告灯によりシステムが正常か異常かを確認すること。
- SRS エアバッグ警告灯が異常表示した場合、自己診断機能によるリセット操作及び CONSULT- で記憶消去操作を行うこと。
- 上記操作を行っても SRS エアバッグ警告灯が異常を表示した場合、「[故障診断](#)」(SRS-4 ページ) を実施し、異常箇所を修理すること。

エアバッグセンサーユニット識別番号

エアバッグセンサーユニット交換後、コントロールユニット識別番号を確認する。

エアバッグセンサーユニット

仕様		C/U 識別番号
2WD	両席エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト付車	AA08
	両席エアバッグ、アクティブシートクッション、プリテンショナーシートベルト、サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグ付車	AA09
4WD	両席エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト付車	AA65
	両席エアバッグ、アクティブシートクッション、プリテンショナーシートベルト、サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグ付車	AA66

A

B

C

D

E

F

G

SRS

I

J

K

L

廃却処理

PF0:00014

作業上の注意

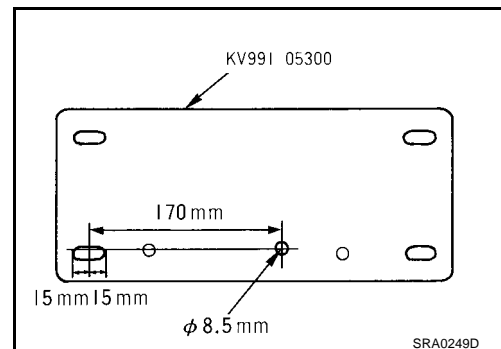
JHS000JK

- エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの廃却及び車両の廃車時は、必ずエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトを作動させること。作動したエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの廃却は「[廃却方法](#)」(SRS-38 ページ) に従って処理すること。
- 作動の際はエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの周囲 5m 以内に人がいないことを確認後、作動させること。
- 車載上でエアバッグモジュール、プリテンショナーシートベルトを展開させる場合は、車の周囲 6m 以上のスペースがある場所で行うこと。
- 作動の際に発する作動音はかなり大きなものなので、音に対する予告を周囲に行うこと。住宅地（繁華街）での作動は極力避けること。作動の瞬間及び作動後しばらくは、かなりの煙が発生するので、換気の良い場所で行うこと。また、火災感知器、煙感知器等の近くでの作業は避けること。
- 作動後のエアバッグモジュール、プリテンショナーシートベルトは非常に高温になっているためエアバッグモジュールは 30 分以上、プリテンショナーシートベルト、アクティブシートクッションは 10 分以上放置する。
- 作動したエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの取り扱いは、手袋を着用すること。（絶対に素手でさわらないこと）
- 作動後のエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトには絶対に水などをかけないこと。
- 容量が十分なバッテリーを用意する。
- エアバッグモジュール、アクティブシートクッションインフレーター及びプリテンショナーシートベルトは分解しないこと。
- 作業終了時は必ず手を洗うこと。
- 展開していないエアバッグモジュールおよびプリテンショナーシートベルトは廃却しない。

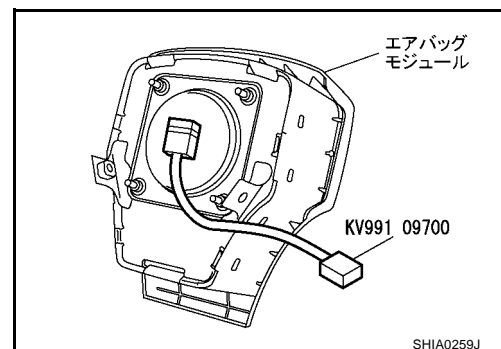
運転席エアバッグモジュール（単体処理）

JHS000JL

1. 容量が十分なバッテリーを用意する。
2. エアバッグ固定用ブラケット(特殊工具)に $\phi 8.5\text{mm}$ の穴を開ける。



3. エアバッグモジュールに変換コネクタ（特殊工具）を接続する。

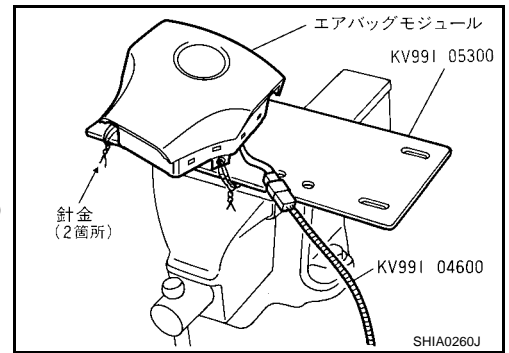


廃却処理

- エアバッグモジュール取付穴を利用し、針金で固定用ブラケット（特殊工具）にしっかりと固定する。

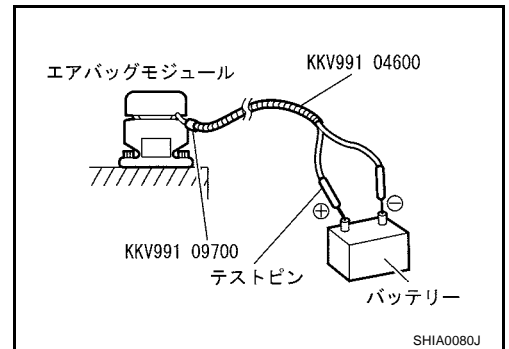
注意：針金はφ1mm以上のものを使用すること。

- 固定用ブラケット（特殊工具）を万力に固定する。
- 変換コネクタ（特殊工具）をディプロイメントツール（特殊工具）に接続する。



- バッテリーマイナス端子にテストピンを接続し、作動させる。

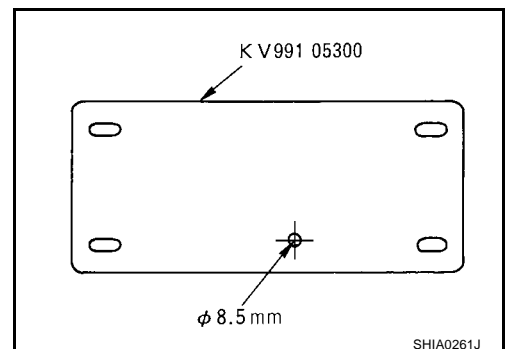
注意：エアバッグモジュールから半径5m以内に人がいないことを確認し、作動の合図をしてから作動させること。



助手席エアバッグモジュール（単体処理）

JHS000JM

- 容量が十分なバッテリーを用意する。
- エアバッグ固定用ブラケット（特殊工具）に 8.5mmの穴を開ける。
- 固定用ブラケット（特殊工具）を万力に固定する。

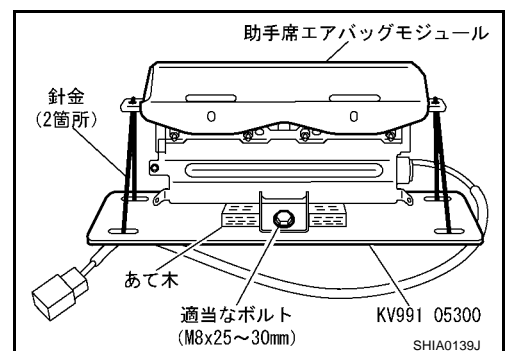


- 固定用ブラケット（特殊工具）穴と、エアバッグモジュール穴をボルト（M8×55 ~ 60mm）で固定する。

注意：エアバッグモジュールと固定用ブラケットとの間にすき間が出た場合、木片等を使用し、安定性を高めること。

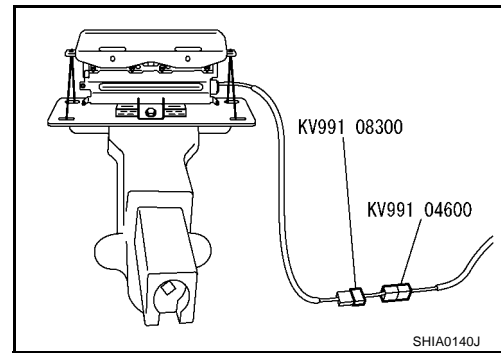
- エアバッグモジュール取付穴を利用し、針金で固定用ブラケット（特殊工具）にしっかりと固定する。

注意：針金はφ1mm以上のものを使用すること。



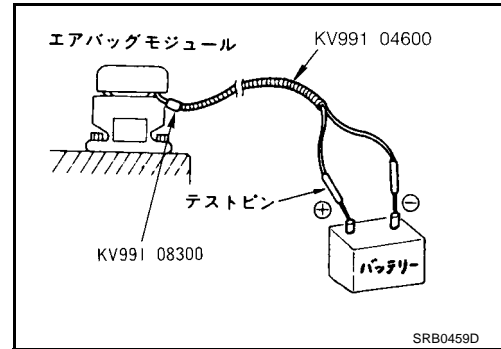
廃却処理

- 変換コネクタ（特殊工具）をディプロイメントツール（特殊工具）とエアバッグモジュールのコネクタに接続する。



- バッテリーの端子にテストピンを接続し、作動させる。

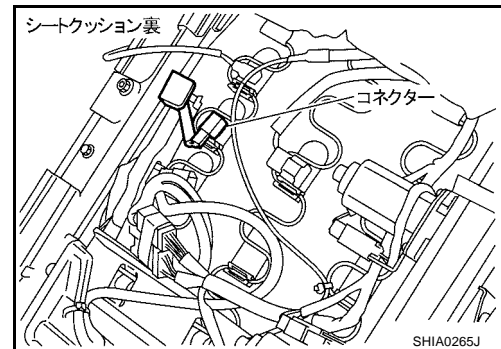
注意：エアバッグモジュールから半径5m以内に人がいないことを確認し、作動の合図をしてから作動させること。



アクティブシートクッション（単体処理）

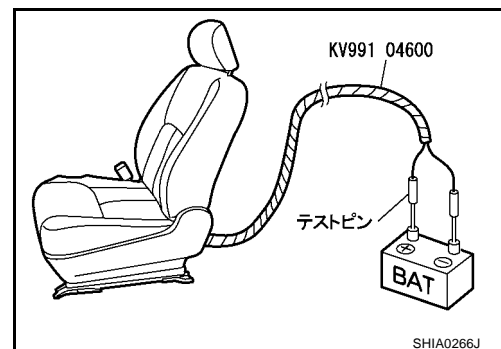
JHS000JN

- フロントシートを車両から取り外す。
- 変換コネクタ（特殊工具）をディプロイメントツール（特殊工具）及びシートクッション裏側のアクティブシートクッションインフレーターコネクタに接続する。



- バッテリーの端子にテストピンを接続し、作動させる。

注意：半径 5m 以内に人がいないことを確認し、作動の合図をしてから作動させること

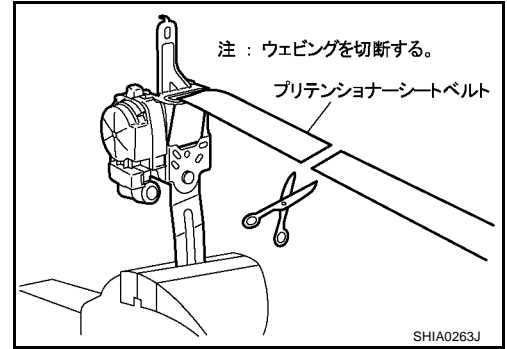


- 作動後、シートクッションフレームからインフレーターを取り外す。

プリテンショナーシートベルト（単体処理）

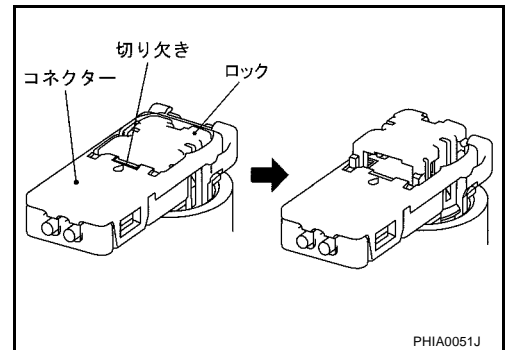
JHS000JO

1. 容量が十分なバッテリーを用意する。
2. プリテンショナーシートベルトを万力に固定する。
3. ウエビングを切断し、ショルダーアンカー及びブラケットを取り除く。



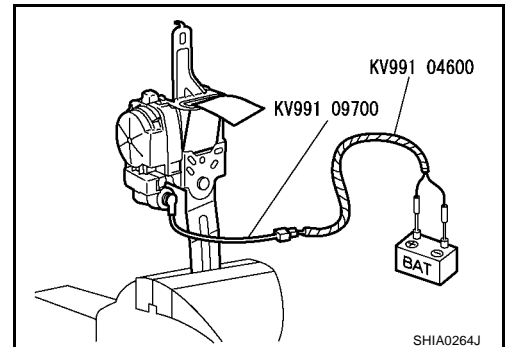
4. 変換コネクタ（特殊工具）をディプロイメントツール（特殊工具）とプリテンショナーシートベルトのコネクタに接続する。

- 注意：**
- プリテンショナーシートベルトコネクタの脱着は、テープを巻いたマイナスドライバーを切り欠き部に差し込み、ロックを引き上げてコネクタを取り外す。
 - コネクタの取り付けは、ロックを引き上げた状態で取り付け、ロックを押し込む。
 - ロックが押し込まれていることを確認すること。



5. バッテリー端子にテストピンを接続し、作動させる。

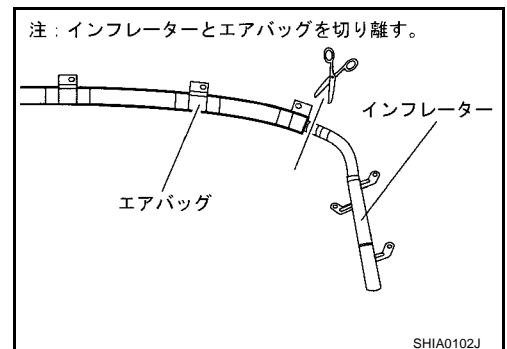
- 注意：** プリテンショナーシートベルトから半径5m以内に人がいないことを確認し、作動の合図をしてから作動させること



カーテンエアバッグモジュール（単体処理）

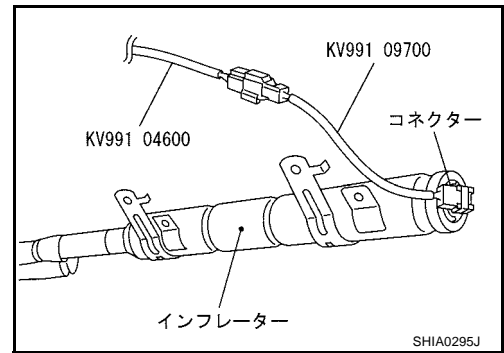
JHS000JP

1. 容量が十分なバッテリーを用意する。
2. エアバッグとインフレーターを切り離す。

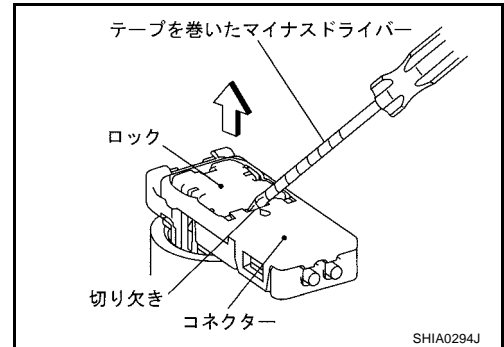


廃却処理

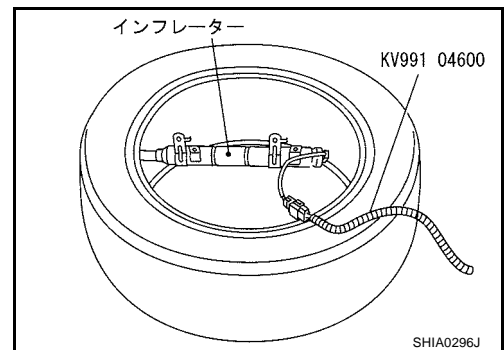
3. 変換コネクタ（特殊工具）とディプロイメントツール（特殊工具）をカーテンエアバッグモジュールコネクタに接続する。



- 注意:**
- カーテンエアバッグモジュールコネクタの脱着は、テープを巻いたマイナスドライバーをロック部に差し込み、ロックを引き上げてコネクタを外す。
 - コネクタの取り付けは、ロックを引き上げた状態で取り付け、ロックを押し込む。
 - ロックが確実に押し込まれていることを確認すること。

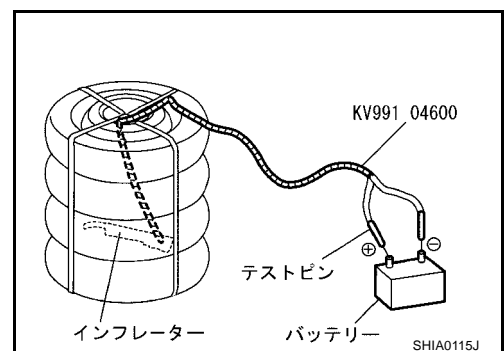


4. ディプロイメントツール（特殊工具）を接続したインフレーターをホイール無しタイヤに入れる。



5. ホール無しタイヤの上に、インフレーターを入れたタイヤを重ね、更にその上にホール無しタイヤと一番上にホール付タイヤを置き、タイヤが崩れない様に紐で固定する。
6. バッテリー端子にテストピンを接続し、作動させる。

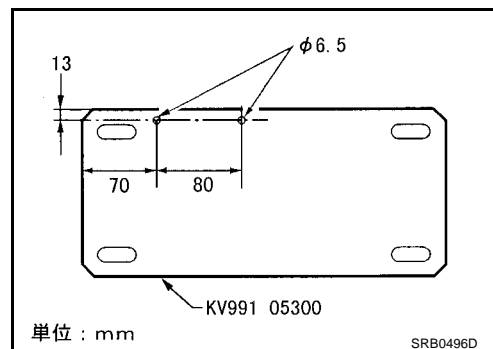
注意: エアバッグモジュールから半径5m以内に人がいないことを確認し、作動の合図をしてから作動させること



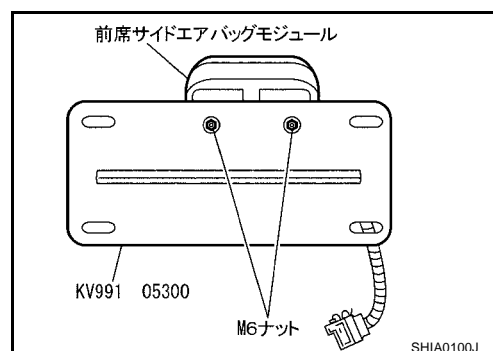
前席サイドエアバッグモジュール（単体処理）

JHS000JQ

1. エアバッグ固定用ブラケット(特殊工具)にφ6.5mmの穴を開ける。
2. 容量が十分なバッテリーを用意する。
3. 固定用ブラケット(特殊工具)を万力で固定する。

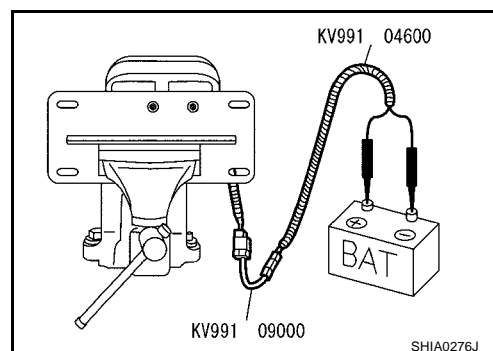


4. エアバッグ固定用ブラケット(特殊工具)穴にエアバッグモジュールのスタッドボルトを通し、ナットで固定する。



5. 変換コネクタ(特殊工具)をディプロイメントツール(特殊工具)とエアバッグモジュールのコネクタに接続する。
6. バッテリー端子にテストピンを接続し、作動させる。

注意：エアバッグモジュールから半径5m以内に人がいないことを確認し、作動の合図をしてから作動させること。



車載上の処理

JHS000JR

- 車載展開時は、全てのエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトを車載状態にてディプロイメントツール(特殊工具)及び変換コネクタ(特殊工具)を使用して強制作動させ、作動後車両より取り外し、ビニール袋に密閉して廃却する。

注意：• アクティブシートクッション及び前席サイドエアバッグモジュールは、シートクッション下側のサブハーネスのコネクタに変換コネクタ(特殊工具)及びディプロイメントツール(特殊工具)を接続して行うこと。

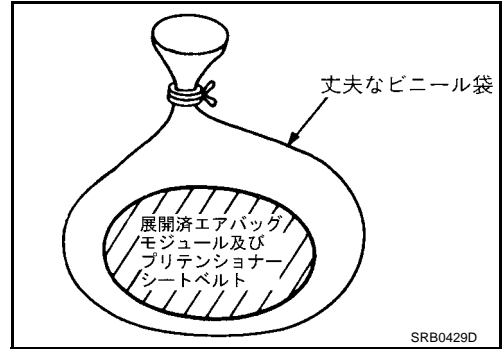
- エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトを展開させるときは、車両の中に人がいないことを確認し、作動させること。
- エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトを展開させる場合は車の周囲6m以上のスペースがある場所で行なうこと。
- 同時に複数のエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトを展開しないこと。
- 作動後のエアバッグモジュール、プリテンショナーシートベルトは非常に高温になっているためエアバッグモジュールは30分以上、プリテンショナーシートベルト、アクティブシートクッションは10分以上放置する。
- 作動したエアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの取り扱い、手袋を着用すること。(絶対に素手でさわらないこと)

廃却方法

作動後のエアバッグモジュール、プリテンショナーシートベルトは非常に高温になっているためエアバッグモジュールは30分以上、プリテンショナーシートベルト、アクティブシートクッションは10分以上放置した後、丈夫なビニール袋に密閉して廃却する。

注意：• 作動の瞬間及び作動後しばらくは、かなりの煙が発生するので、換気の良い場所で行うこと。また、火災感知器、煙感知器等の近くでの作業は避けること。発生ガスは無害であるがむせるので吸わないようにすること。

- 作動したエアバッグモジュール、アクティブシートクッションインフレーター及びプリテンショナーシートベルトの取り扱いは、手袋を着用すること。（絶対に素手でさわらないこと）
- 作動後のエアバッグモジュール、アクティブシートクッションインフレーター及びプリテンショナーシートベルトには絶対に水などをかけないこと。
- エアバッグモジュール、アクティブシートクッションインフレーター及びプリテンショナーシートベルトは分解しないこと。
- 作業終了時は必ず手を洗うこと。
- 作動後のエアバッグモジュール、アクティブシートクッション、プリテンショナーシートベルト、サテライトセンサー及びエアバッグセンサーユニットは再使用不可である。
- 展開していないエアバッグモジュールおよびプリテンショナーシートベルトは廃却しないこと。



事故後処理

事故後処理

前面衝突時の処理

SRSエアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトの処理は下記の手順で行う。

SRSエアバッグが展開した場合（サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグを除く）

1. エアバッグセンサーユニットを交換する。
2. エアバッグモジュール（サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグを除く）、アクティブシートクッション（シートクッションフレーム一体）及びプリテンショナーシートベルトを取り外す。
3. 構成部品を下記の表を使用して点検する。
 - 構成部品を目視点検し損傷がある場合は交換する。（へこみ、ひび及び変形など）
4. 新しいエアバッグモジュール（サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグを除く）、アクティブシートクッション（シートクッションフレーム一体）及びプリテンショナーシートベルトを取り付ける。
5. CONSULT- 又は SRS エアバッグ警告灯を使用して自己診断を行う。「システム点検」(SRS-7 ページ) 参照。

SRSエアバッグが展開しなかった場合

1. 構成部品を下記の表を使用して点検する。
 - 構成部品を目視点検し損傷がある場合は交換する。（へこみ、ひび及び変形など）
2. CONSULT- 又は SRS エアバッグ警告灯を使用して自己診断を行う。「システム点検」(SRS-7 ページ) 参照。

点検要領

部位	展開	未展開
エアバッグモジュール (運転席及び助手席)	交換	1. エアバッグモジュールに変形及び損傷が無いか目視点検する。 2. 異常があった場合、エアバッグモジュールを交換する。 注意: 展開していないエアバッグモジュールは、廃却する前に展開させる。
アクティブシートクッション	交換（シートクッションフレーム一体）	1. シートクッションに損傷（変形、き裂）があるか目視点検する。 2. 異常があった場合、交換する。 注意: 展開していないアクティブシートクッションインフレーターは、廃却する前に展開させる。
プリテンショナーシートベルト	交換	1. アンカーの取り付け部及びベルトを点検する。 2. リトラクターが正常に作動するか点検する。 3. 損傷があった場合、プリテンショナーシートベルトを交換し廃却する前に展開させる。
エアバッグセンサーユニット	交換	1. CONSULT-II を使用して異常が無いか点検する。 2. 異常があった場合、交換する。
ステアリングホイール		1. ステアリングホイールに変形がないか目視点検する。 2. ステアリングホイールを上下、左右、軸方法に動かしたとき過度のガタがないか点検する。 3. 異常があった場合、交換する。
スパイラルケーブル		1. ステアリング操作が重たくないか、異音がしないか点検する。 2. 損傷があった場合、交換する。
インストルメントパネル	助手席エアバッグが展開した場合、交換する。	

側面衝突時の処理

側面衝突時のサイドエアバッグ、カーテンエアバッグ及びプリテンショナーシートベルトの処理は下記の手順で行う

サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグが展開した場合

1. 下記の構成部品を交換する

事故後処理

- エアバッグセンサーユニット
- サテライトセンサー
- サイドエアバッグモジュール及びカーテンエアバッグモジュール交換(側面衝突によって展開しているサイドエアバッグ及びカーテンエアバッグ)

2. 関連部品を取り外し、下記の表を使用して点検する

関連部品を目視点検し損傷がある場合は交換する。(へこみ、ひび及び変形など)

3. 新しいサイドエアバッグモジュール及びカーテンエアバッグモジュールを取り付ける。

4. CONSULT- 又は SRS エアバッグ警告灯を使用して自己診断を行う。「システム点検」(SRS-7 ページ) 参照。

サイドエアバッグ及びカーテンエアバッグが展開しなかった場合

1. 構成部品及び関連部品を下記の表を使用して点検する。

- 構成部品及び関連部品を目視点検し損傷がある場合は交換する。(変形、損傷、き裂など)

2. CONSULT- 又は SRS エアバッグ警告灯を使用して自己診断を行う。「システム点検」(SRS-7 ページ) 参照。

点検要領

部品	展開	未作動
サイドエアバッグモジュール	交換(シートバッグ含む)	1. 側面衝突時に衝突側にあったシートバックに損傷(変形、き裂)があるか目視点検する。 2. 異常があった場合、交換する。 注意: 展開していないエアバッグモジュールは、廃却する前に展開させる。
カーテンエアバッグモジュール	交換(サイドトリム及びヘッドライニングなど損傷があれば交換する)	1. 側面衝突時に衝突側にあったサイドトリム及びヘッドライニングに損傷(変形、き裂)があるか目視点検する。 2. 異常があった場合、交換する。 注意: 展開していないエアバッグモジュールは、廃却する前に展開させる。
サテライトセンサー	交換(センターピラーインナーなど損傷があれば交換する)	1. CONSULT-II を使用して異常が無い点検する。 2. 異常があった場合、交換する。
エアバッグセンサーユニット	交換	1. CONSULT-II を使用して異常が無い点検する。 2. 異常があった場合、交換する。
プリテンショナーシートベルト		1. シートベルトが正常に引き出せるか点検する。 不具合があれば - センターピラーガーニッシュ変形があるか点検する。 - センターピラーガーニッシュに変形がない場合は、プリテンショナーシートベルトを交換する。 2. プリテンショナーシートベルトの損傷(変形、損傷、き裂)を目視点検する。 3. 損傷があった場合は、プリテンショナーシートベルトを交換し、廃却する前にプリテンショナーシートベルトを展開させる。
シート	交換(シートバックフレームを含む)	1. 側面衝突時に衝突側にあったシートを目視点検する。 2. 異常があった場合は、交換する。